

情報公開文書

課題名 : ヒト固形腫瘍の遺伝環境表現型相関

研究期間: 倫理委員会承認日 ~ (西暦) 2025 年 3 月 31 日

1. 研究の対象

2020 年 4 月~2025 年 3 月に当院で消化器がん、肺がんの手術を受けた方

2. 研究目的・方法

腫瘍の手術をされたかたは、病理部門で、病理診断を行い、その腫瘍の種々の性格を解析して、当該の診療に指針をあたえる作業が行われます。さらに、それだけでなく、疾病の全体的な傾向や未知の部分をつまらかにするために、統計解析をする、医学の進歩、将来の診断・治療のために種々の探索といった作業が行われています。本研究はとくに上記の固形腫瘍が病理部門に提出されたあと、病理診断に必要な部分の残余の部分を用いて、非腫瘍部、腫瘍部の核酸やその修飾、多数組織をみつめて、予後や腫瘍の原因に関係する分子マーカー(腫瘍部の包括的遺伝子解析)の探索、診断法の開発や評価、ヒトの代々受け継がれる遺伝的な特性(遺伝子多型)、生活習慣を反映すると考えられている痕跡(DNA 付加体・マイクロバイーム)、あたらしい検出機器による脂質成分の同定(質量顕微鏡)、液性病理学的知見との比較といった多角的アプローチで腫瘍の将来の治療を開発することを目的とします。この学術研究により、患者さんへの侵襲はまったくありません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料: 生検や手術で摘出した組織のうち診断等にもちいた残余部分、血液等
情報: 性別、年齢、家族歴、病歴、病変の部位等

4. 外部への試料・情報の提供

生体試料や情報・データは、郵送または宅配便にて適切に送付されます。送付される前に氏名・住所・生年月日を削除し、代わりに新しく符号をつけ、誰のものかわからないようにした上で取り扱われます。

5. 研究組織

【研究代表者】

梶村 春彦(浜松医科大学腫瘍病理学講座 教授)

【試料・情報の提供先機関と各施設の研究責任者(共同研究施設)】

岩田誠司(東芝メディカル)

間野博行教授(東京大学・国立がん研究センター)

松田浩一・古川洋一教授(東京大学)

渡辺賢二教授・恒松雄太・佐藤道大(静岡県立大学薬学部)

渋谷正史(上武大学 学長)

吉田輝彦(国立がん研究センター: 吉田班 班長)

戸塚ゆ加里・中釜斉(国立がん研究センター研究所)

井ノ上逸朗 教授(国立遺伝学研究所)

松田知成 准教授(京都大学工学研究科附属 流域圏総合環境質研究センター)

林幾江(広島大学)
林奉権(放射線影響研究所)
木下賢吾(東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 ゲノム解析部門 生命 情報システム科学分野・基盤解析事業部 ゲノムプラットフォーム連携センター)
油谷浩幸(東京大学)
中岡博史(佐々木研究所・国立遺伝学研究所)
菅野康吉(栃木県立がんセンター)
加藤洋人、石川俊平(東京大学)
津金昌一郎・岩崎基(国立がん研究センター 社会と健康研究センター)
渡辺亮(京都大学 医学領域 産学連携推進機構)
菅井有(岩手医科大学)

既存試料・情報の提供を行う機関として、当院を含め全国約 40 機関から協力を得ており、今後も追加される可能性があります。

6. 個人情報の取扱い

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である浜松医科大学が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先(研究責任者)：

浜松医療センター 病理診断科 森 弘樹
〒432-8580 静岡県浜松市中区富塚町 328
Tel: 053-453-7111

研究代表者：浜松医科大学腫瘍病理学講座 教授 梶村 春彦